

コンソーシアムでの目録の共同使用

Note

共同ネットワークに関するオンラインヘルプページへのリンクについては、「[共同ネットワーク](#)」を参照してください。

Almaは、コンソーシアムの1人のメンバーによるすべての購入ステップの管理と、別のメンバーによる受け取った目録の処理をサポートしています。ある機関はコンソーシアム内の別の機関を注文でき、リソースが到着すると、注文機関はリソースを他の機関に転送できます。これにより、目録を共同で使用するための単一のワークフローが可能になり、すべてのコンソーシアムメンバーは、それらの間で目録を転送するための1つの合理化された方法を持つことができます。

用語：

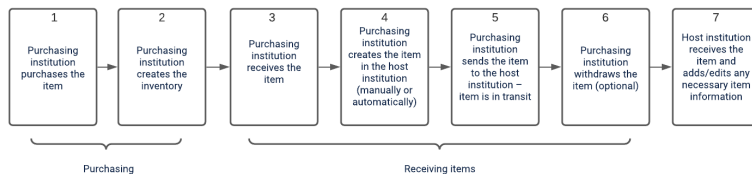
- 購入図書館 - 注文明細の所有者の図書館。注文明細を作成、管理、送信、および受信する図書館。
- ホスト図書館 - 受け取ったアイテムを収容および運用することが予想される他の機関の図書館。

このページでは、機関間の目録転送の機能について説明します。目録の購入と管理の全体的な情報については、「[物的リソース管理](#)」を参照してください。

ワークフローの概要

次のワークフローは、ネットワークゾーン環境に実装されています。

1. 購入図書館は、ホスト図書館をリモートの物的配架場所として構成します（「[購入図書館を「物的配架場所」として設定する](#)」を参照）。
「物的配架場所」の構成には、ホスト場所とアイテムのポリシーの定義が含まれます。
2. 購入図書館がネットワークゾーンレコードに関連する注文を行うと、ホスト図書館が注文明細/インポートマッピングに「場所」として追加されます（[ホスト場所の注文明細への追加](#)を参照）。
購入図書館は、通常どおりすべての購入ステップを続行します。
3. 購入図書館は目録を受け取ります。このホスト図書館でアイテムの自動作成を開始します（オプション）。[購入図書館で資料を受け取る](#)を参照してください。
4. 目録がホストにコピーされると、アイテムは購入図書館から撤回されます（オプション）。[購入図書館からのアイテムの撤回](#)を参照してください。
5. ホスト図書館で（受信時に自動的に、またはアイテムリストを介して手動で）作成されたアイテムは、[処理中のアイテム]リスト（オプション）のホスト図書館（受入部署）に配置されます。[ホスト図書館の所蔵レコードの処理](#)および[ホスト図書館のアイテムデータ](#)を参照してください。
6. ホスト図書館では、スタッフが新しいアイテムを処理し、必要な情報を追加/変更できるようになりました。



購入図書館を「物的配架場所」として設定する

「物的配架場所」の設定（[設定]>（図書館レベル）>[一般]>[物的配架場所]）には、別の機関にあるホストの場所（リモートの場所）を定義できるセクションが含まれています。このセクションは、ネットワークゾーントポロジで機能するネットワークゾーンとそのメンバーに対してのみ有効になります。スタンドアロンの機関では、新しいセクションが有効になっていません。

「ホスト場所」を設定すると、注文明細に場所として追加され、それによって「共同目録」機能がトリガーされます。

ホスト場所の構成フィールド：

フィールドラベル	フィールドの説明
ホストロケーションに在庫を設定	ホスト場所を構成するには、このチェックボックスを選択します。これにより、このセクションを展開し、以下のフィールドを表示します。
ホスト機関	すべてのコンソーシアム機関からホスト機関を選択します。
ホストロケーション	選択したホスト機関のすべての図書館と場所からホスト場所を選択します。
受け取ったホスト図書館に自動的にアイテムが作成されます。	アイテムが購入図書館で受信されたときに、ホスト図書館でアイテムを自動的に作成する場合に選択します。 このチェックボックスがオフの場合、アイテムが購入図書館で受け取られたときに新しいアイテムは作成されません。ホスト図書館のユーザーは、アイテムリストを介してアイテムを作成するオプションを取得します。
ホスト図書館にコピーする際にアイテムを撤回する	アイテムがホスト図書館にコピーされたときに、購入図書館でアイテムを撤回する場合に選択します（それが所蔵レコードの最後のアイテムである場合、所蔵レコードも削除されます）。 Note 購入図書館でアイテムを受け取ったときに、[新しい資料の受入]ページ（ 新しい物的資料の受け取り を参照）で[部署に保管]が選択されている場合、アイテムは撤回されません。共同目録管理に[部署に保管]オプションを使用することは推奨されません。 このチェックボックスがオフの場合、購入図書館（作成されている場合）のアイテムは、ホスト場所にコピーされた後は撤回されません。
ホストのアイテムの来歴	来歴（たとえば「Polk図書館により購入されました」）を選択して、アイテムを購入図書館からホスト図書館にコピーするときに、ホスト図書館で作成されたアイテムに割り当てます。これにより、アイテムが別の機関によって購入されたことがユーザーに示されます。

フィールドラベル	フィールドの説明
	来歴値は、来歴コード システムテーブル から生成されます ([設定メニュー]>[リソース]>[一般]>[来歴コード])。
ホストの[処理中のアイテム]リストにアイテムを入れる	ホストの場所にアイテムを自動的に作成する場合に選択します。これは 受入後のプロセスのためのホスト場所の受入作業部署に割り当てられます。 このチェックボックスがオフの場合、アイテムは、ホスト場所の「処理中のアイテム」リストには表示されません。
ワークオーダー種別ステータス	「ホストの『処理中のアイテム』リストにアイテムを配置する」チェックボックスを選択した場合は、ホスト図書館で作成されたアイテムに割り当てられるワークオーダーステータスを選択します (アイテムを購入図書館からホスト図書館にコピーするとき)

「ホスト場所」を注文明細に追加する

ホストの場所を定義すると、注文明細の作成時に場所のリストに表示され、手動で、または[新しい注文のインポート]ジョブを使用して注文明細に追加できます。

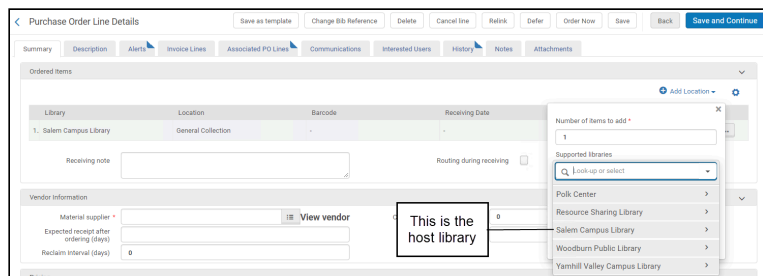
注文明細で「ホスト場所」を手動で指定する

購入機関がホスト図書館に代わってタイトルを注文すると、購入図書館のユーザーは[場所の追加]オプションを使用してホスト場所を注文明細に手動で追加できます。

Note

これは、「1回限り」および「継続的」タイプの注文明細でのみ可能となります。

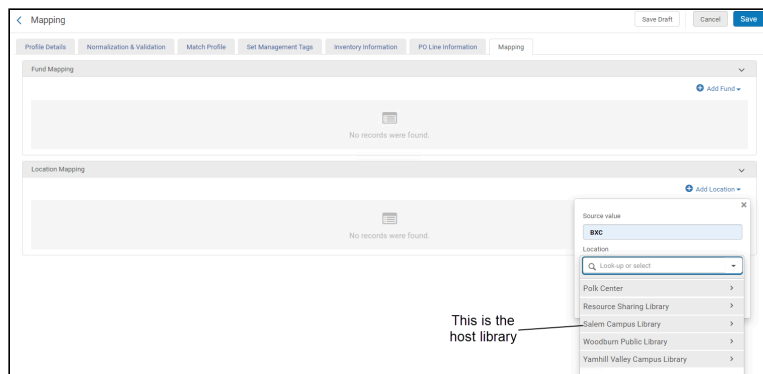
オプションで、購入図書館のユーザーは、注文が別のメンバーに対して行われたことを示す「受信メモ」を追加できます。



新規注文のインポートジョブで「ホスト場所」を指定する

ホスト図書館をアイテムのターゲットの場所として設定するには、購入図書館のユーザーが[場所の追加]オプションを使用して、ホスト場所を[新規注文]インポートプロファイルの[マッピング]タブに追加する必要があります。

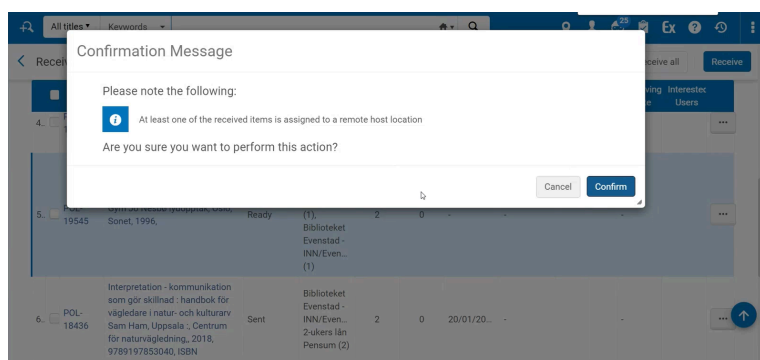
新規注文のインポートジョブは、アイテムの場所として「リモートホスト」を設定します。アイテムはホスト場所にコピーされません (これは、資料の受入時など、後で行うことができます)。



購入図書館で資料を受け取る

ホスト 場所の資料の受け取りは、購入図書館で行われます。

ユーザーがアイテムの受入アクションを選択すると、メッセージはアイテムがリモートホストの場所に割り当てられていることをユーザーに警告します（アラートは[受入アラートの管理]ページ（[設定]>[受入]>[一般]>[受入アラートの管理]）で構成できます）。



購入図書館の[ホスト場所の設定]セクションで設定されたポリシー（[購入図書館を「物的配架場所」として設定するを参照](#)）は、購入図書館での受入アクションの機能に影響を与えます。

- [受信時にホストの場所にアイテムを自動的に作成する]が選択されている場合、[受信]アクションが完了すると、ホスト図書館に新しいアイテムが作成されます。この場合、追加のパラメータが適用されます：
 - 「ホスト図書館へのコピー時にアイテムを撤回する」が選択されている場合、アイテムはホスト場所にコピーされると購入図書館で撤回されます。（これが所蔵レコードの最後の項目の場合、所蔵レコードも削除されます。）
 - 「ホスト図書館にコピーする際にアイテムを撤回する」がクリアされている場合、そのアイテムは購入図書館で撤回されません。
- [受信時にホストの場所にアイテムを自動的に作成する]が選択されていない場合、[受信]アクションが完了してもホスト図書館に新しいアイテムは作成されません。ユーザーは、「アイテムリスト」ワークベンチのホスト図書館でアイテムを作成できます。

アイテムをホスト図書館にコピーする

アイテムを一度に1つずつ、または一括操作でホスト図書館にコピーできます。

Note

以下の両方の機能は、コンソーシアムの1人のメンバーが別のメンバーのためにアイテムを購入するコンソーシアムでの購入目録の共同使用をサポートします。ただし、書誌レコードがネットワークゾーンレコードである場合は、ある機関から別の機関へのアイテムの単純な転送にも使用できます。

「ホスト図書館にアイテムをコピー」アクション

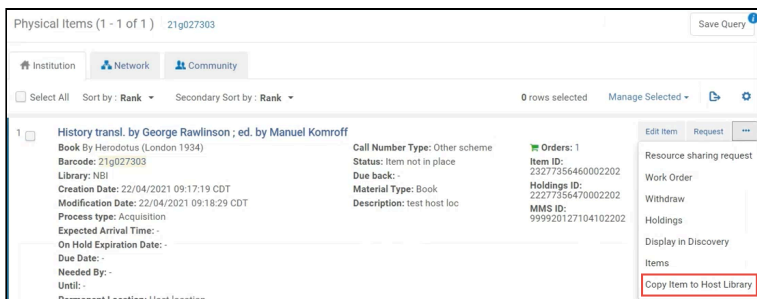
アイテムをホスト図書館にコピーするには：

1. [冊子]ページで[アイテムをホスト図書館にコピー]アクションを選択します。

Note

このオプションは、次の基準が満たされた場合にのみ表示されます。

- アイテムはネットワークゾーンの書誌レコードに添付されており、
 - アイテムはリモートの場所、つまり「ホスト場所」としてマークされた冊子の場所に割り当てられている場合。
2. アイテムが以前にホスト図書館にコピーされていた場合、それらは自動的に再度コピーされることはありません。確認メッセージが開きます。それらを再度コピーする場合は、[OK]を選択します。



冊子の検索結果

「物的場所 - ホスト構成」セクションで設定されたポリシー（[購入図書館を「物的配架場所」として設定する](#)を参照）は、「アイテムをホスト図書館にコピー」アクションの機能に影響を与えます。

- 「ホスト図書館へのコピー時にアイテムを撤回する」を選択した場合、購入図書館のアイテムは、ホスト場所にコピーされると撤回されます（これが所蔵レコードの最後のアイテムの場合、所蔵レコードも削除されます）。ユーザーは確認メッセージでプロンプトが表示され、アイテムが取り下げられることを確認する必要があります。
- 「ホスト図書館へのコピー時にアイテムを撤回する」がクリアされている場合、購入図書館のアイテムは、ホストの場所にコピーされた後は撤回されません。

ジョブを介してアイテムをホスト場所にコピーする

購入図書館からホスト図書館にアイテムをまとめてコピーするには、[冊子情報の変更]ジョブの[アイテムをホストにコピー]アクションを使用します。これにより、アイテムのセットがホスト場所にコピーされます（ジョブによって場所データが変更される場合と変更されない場合があります）。

Note

このアクションは、「ホスト図書館へのコピー時にアイテムを撤回する」オプション（「購入図書館を「物的配架場所」として設定する」を参照）がホスト場所として選択されている場合でも、アイテムを撤回しません。

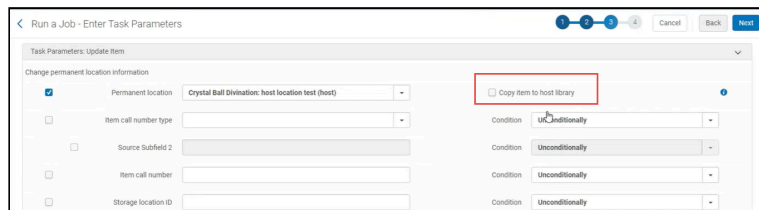
これらの両方のアクションの結果としてホスト図書館に作成されたアイテムの詳細については、ホスト図書館でのアイテムの処理を参照してください。

ジョブを介してアイテムをホスト場所にコピーするには：

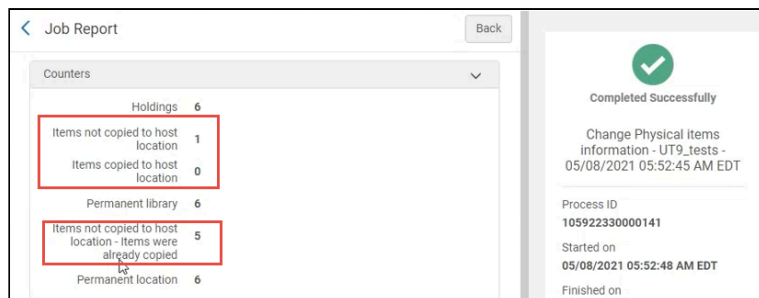
1. ジョブ「冊子情報の変更」の実行を選択します（**[管理]>[ジョブの実行]**）。
2. ジョブを実行する必要があるアイテムのセットを選択します。
3. タスクパラメータで、**[アイテムをホスト図書館にコピーする]**チェックボックスを選択して、アイテムをホスト図書館にコピーします。

Note

- このチェックボックスは、以下の両方の基準が満たされた場合にのみ表示されます。
 - ジョブはコンソーシアムメンバーのために実行される
 - 「恒久的場所」パラメータに選択された場所がホスト場所である場合。



4. **[送信]**を選択します。これにより、リモートロケーション（ホスト図書館）に新しいアイテムが作成されます。ホスト場所ポリシーがアイテムに適用されます（「来歴コード」、「ホストの「処理中のアイテム」リストにアイテムを配置する」、「ワークオーダータイプ」）。
5. ジョブの結果を確認するには、**[ジョブの監視]**ページを開きます（**[管理]>[ジョブとセットの管理]>[ジョブの監視]**）。レポート内の次のカウンターは、コピーアクションに関する情報を提供します。



- ホストの場所にコピーされたアイテム
- ホストの場所にコピーされていないアイテム：ネットワークゾーンレコードにリンクされていないアイテムを示します。
ホストの場所にコピーされなかったレコードを表示するには、イベント行アクション **ジョブの監視**ページ（**[管理]>[ジョブとセットの管理]>[ジョブの監視]**）。これにより、ホストの場所にコピーされなかったジョブのイベントが表示されます。

Name	Process ID	Records processed	Records with errors	Job Category	Operator	Submit Date	Start Date	End Date	Status
Change Physical Items Information - haki test5	10854435000141	1	0	Repository	enlmp@...	01/03/2022 01:39:23 AM EST	01/03/2022 01:39:26 AM EST	01/03/2022 01:41:01 AM EST	Completed Successfully

- ホスト場所にコピーされていないアイテム - アイテムはすでにコピーされています。このカウンターは、ジョブの変更前に定義済みのホストの場所にすでにコピーされているアイテムを示します。これらのアイテムはその場所を保持します。これらは必要に応じて手動でコピーできます。

ホスト図書館でのアイテムの処理

このセクションでは、これらのフローの1つとしてホスト図書館で作成されたアイテムを特徴づけます。以下のホスト図書館のエントリについて詳しく説明するものです。

- 所蔵レコード
- アイテムデータ

上記のように、購入図書館は、次のいずれかの方法でホスト図書館にアイテムを作成できます。

- 「受信」アクションによる方法（「ホスト場所にアイテムを自動的に作成する」オプションが選択されている場合）または
- 「アイテムをホスト図書館にコピー」アクションによる方法（「ホスト場所にアイテムを自動的に作成する」オプションが選択されていない場合）。

ホスト図書館での所蔵レコードの処理

ホスト図書館では、所蔵レコードが新しいアイテムで更新されます。

- ネットワークゾーンの書誌レコードにホスト機関へのリンクがない場合、ネットワークゾーンレコードはホスト機関にリンクされ、所蔵レコードがホスト図書館に作成されます。
- タイトルがすでにリンクされているが、関連する所蔵がない場合は、ホスト機関で新しい所蔵が作成されます。
- 図書館+場所の所蔵がすでに存在する場合は、アイテムは既存の所蔵レコードに割り当てられます。

ホスト図書館のアイテムデータ

ホスト図書館では、次のアイテムの情報が入力されています。

- アイテムポリシー - 空欄（図書館のポリシーに従って、ホスト図書館のユーザーが手動で調整します）。
- 来歴 - 「物的場所」の設定（購入図書館で）で定義された来歴に応じて
- 受入日 - 「購入図書館」アイテムからコピーされる
- 図書館+場所 - 「物的場所」の設定で定義された図書館の場所に応じて（購入図書館にて）
- アイテムステータス - 配置済みでないアイテム
- 一時的な場所情報 - 空欄（図書館のポリシーに従って、ホスト図書館のユーザーが手動で調整します）。

Physical Item Editor Relink to another bibliographic record Cancel Save

Barcode	119027303	Generate	Copy ID	
Material type	Book		Item policy	
Provenance	purchase for Inlandnet		Is magnetic	
PO Line			Issue date	
Receiving date			Expected receiving date	
Enumeration A	2001		Enumeration B	
Chronology I			Chronology J	
Description	test host loc	Generate		
Pages	6		Pieces	3
Replacement cost			Receiving operator	
Physical condition				
Process type				

Inventory Information

Inventory number		Inventory date	
Inventory price		Clear Inventory Information	

Location Information

Permanent location *	Resource Sharing Library: Lending Resource Sharing Requests
Item call number type	
Item call number	

ホスト図書館のアイテムのサンプル (部分的)

ユーザーは、関連するフィールドを手動で変更できます。他のすべてのアイテム情報は購入図書館のアイテムからコピーされます。これには、アイテムのバーコードと説明が含まれます。

- (購入図書館の) [物的場所]設定で[ホスト場所にアイテムを配置する「処理中」リスト]が選択されている場合、新しいアイテムは、受信後のプロセスのためにホスト図書館の受入作業部署に割り当てられます。
- ホスト図書館のユーザーは、「処理中のアイテム」リスト (別名: 受入部署のアイテム) を適用して、図書館で利用できるようになる前に資料の作業を実行します (現在と同じフロー)
- [処理中のアイテム]リストの[来歴]列には、アイテムを購入した図書館が表示されます (注文明細所有者)。